

「人は、人の中で生き育つ」

今回は、精神看護の母と呼ばれるアメリカの看護学者のペプロウの対人関係理論から学び気づいたことを紹介させていただきます。

私たちの関わる全ての対象者と、私達は日々、どのような人間関係を構築しているでしょうか。

治療やケアのサービスをする前に、先ず関係作りが必須ですよね。

その関係作りのポイントは、一人一人それぞれに工夫されていることだと思います。

■最近、私が学び気づいた利用者様や、家族様の声として

①出会ったとき、第一印象が大事。

笑顔があるかどうか、清潔な身なりかどうかで判断する。

なぜならば、その方が自宅に上がってきて安心できるかどうかを見極めるため。



②ケアするその方が体に触れただけでどんな気持ちで触っているのかが伝わる。

言葉で良いことを言っている、必ずしもそうじゃない気持ちを持っている時がある様に思う。

③できるならば、自分のことを1番よく分かっている人に関わってもらいたい。

ペプロウ氏は、関わる人の人格が、患者あるいは利用者様に大きな影響を与えていると言われています。

常に試され、いつもみている利用者さまや家族さまに鍛えていただきながら私たち自身のパーソナリティを成長させていくことが大きく期待されていると思います。

人生の始まりと、終わりはこの世の全ての人が経験することですものね。早いか遅いか。

先行く人生の先輩方から行く道を学び、

後に生まれた人たちから来た道を学んで…

かけがえのない自分自身の人生花を咲かせるために

昨日の自分に、そして周りの人にありがとう、

明日出逢う自分と周りの人に、よろしくと言える美しい挨拶ができる人になりたいものです。

そして、自身の人間関係作りを見つめてみましょう。

みんな違って、みんな良いのですから。

てのひらの人間関係は、いつも、みのり続けています。



いつもありがとうございます。

そして、今月もお疲れ様でした。

2024年11月8日

呉静恵

